

「SDG s」にもつながる「アマモ場」保全プロジェクト 「海プラスS O U」の活動に「みとしー」が初参加!!

この度、伊豆・三津シーパラダイス（住所：静岡県沼津市、支配人：植田行宏）は、主に沼津市西浦地区で海草藻類の保全・再生活動などを続けている特定非営利活動法人「海プラスS O U（うみプラスそう）」主催の「アマモ種子採取」活動に初めて参加させていただくこととなりましたので、お知らせします。



海中のアマモ場の様子 ©海プラスS O U

1. 「アマモ種子採取」活動について

- 活動日時 2022年6月3日（金） 9:00 開始予定
集合場所 平沢港（静岡県沼津市西浦平沢）
当日の活動内容 海中よりアマモ種子の採取およびアマモ種苗の移植（予定）
※当日の天候等により、急きょ日程・内容等が変更となる場合があります。

2. 特定非営利活動法人「海プラスS O U（うみプラスそう）」について

■活動履歴の概要

- 2015年 3月 大瀬崎でダイビングサービス（COCOMO大瀬崎）を運営する杉山善一氏と内浦漁業協同組合所属の小林大介氏を中心に、大瀬崎周辺海域において減少したアマモ場の再生に向けた取り組みを開始
- 2016年 4月 アマモ場再生事業計画立案
- 2016年 6月 特定非営利活動法人化のための勉強会を開催し、アマモ種子採取及び母草移植の実施
- 2016年10月 アマモ種子選別実施
- 2017年 アマモ種苗の移植実施 アマモ種苗の移植箇所調査の実施、アマモ種子採取、アマモ種子播種実施
- 2018年 4月 特定非営利活動法人 海プラスS O Uを設立（理事長：杉山善一）
- 2018年 6月 アマモ種子採取実施

■事業目的

水辺の環境保全活動を行い、海草藻類の育成等や環境学習レクリエーションの機会の提供、水辺の魅力の掘り起こし、海・川・湖・地下水を利用した新たな価値の創造支援と環境調査の事業を通じて、水と環

境と人間の活動をもって地域の生活環境と自然環境の改善や啓蒙を行って、人間と自然の調和のとれた社会の実現に寄与することを目的としています。

■ 構成メンバー

理事長の杉山氏はダイビングサービスを経営しています。他のメンバーも地元漁師兼遊漁船経営や海洋土木コンサルタント会社に勤務し、個々の技術を生かして活動を行っています。

3. アマモについて

アマモ場は、『海のゆりかご』と呼ばれ、多くの海の生き物が集まり、卵を産み、幼魚らの隠れ家となる環境を形成します。アマモ場は陸上の森林に匹敵する二酸化炭素を吸収し、海底に貯蔵する役割を担っているとも言われており、アマモ場を保全し、増やしていくことが重要と考えられています。沼津市西浦地区でも以前は、広範囲なアマモ場が点在し、マダいの幼魚等の姿が見られる浜であったと言われており、アマモを育て、豊かな里海に戻す手助けとなるアマモ場の再生事業は「SDGs」の「目標14. 海の豊かさを守ろう」にも直結する取り組みです。

また、2022年5月9日（月）に伊豆・三津シーパラダイスに搬入され話題となった「日本三大怪魚」の一種「アカメ」も、稚魚・幼魚期はアマモ場で過ごすと言われており、生物多様性の維持にも重要な役割を果たしていると考えられています。

4. 伊豆・三津シーパラダイスのアマモに関する活動について

当館では、水族館棟「魚の国」展示水槽で、近隣のアマモ類の飼育・展示の取り組みを継続しています。水槽内でのアマモの育成は、光や水質、アマモの根が伸びる底質の条件などが適さないと、長期の維持が難しく、私たちも試行錯誤を繰り返している状況です。海プラスSOUの杉山氏から海中でのアマモの様子などをご教授いただくなかで、今回の「アマモ種子採取」活動についてもご紹介いただき、今回当館として初めて活動に参加させていただくこととなりました。

5. お問い合わせ 伊豆・三津シーパラダイス TEL.055-943-2331 (9:00~17:00)

以上